



学・思・貫

寄宮中学校だより
第2号 2017/05/18
発行 学校長 仲盛康治

那覇ハーリー！寄宮中史上初の男子準優勝、女子優勝！寄の会優勝！



昨年に引き続き、男子は決勝進出で準優勝！女子は圧倒的勝利で初優勝！選手はもちろん！惜しくも選考から外れ涙をのんだ仲間、応援団、指導者の洋介先生やPTA高安さん、保護者の方々等々、チーム寄宮の結束力の強さを見せてくれました。おめでとう！

男子記録：3分47秒 女子記録4分12秒

一人ひとりの力の結集がとてつもないパワーを生み出し、「さすが寄宮」との話があらこちらから聞こえました。生徒諸君、保護者の皆様、益々自信を持って共に何事にもチャレンジして行きましょう！

寄宮中&友が丘中ハーリーで交流

神戸市立友が丘中学校の3年生が4月27日、修学旅行の最終日に、本校の3年生とプールで、ハーリーの櫂（かい）さばき体験を行いました。寄宮中の生徒が手本を見せ、横でアドバイスを受けながら、友が丘中の生徒が挑戦、寄宮中の生徒による太鼓と鉦（かね）のリズムに合わせて、大きな掛け声と共に櫂を漕（こ）ぎました。友が丘中の山本愛さんは「思ったよりきつくて難しかったけど、とても楽しい。次回は実際にハーリーに乗って漕いでみたい」と話しました。寄宮中の津波璃子さんは「県外の人との交流はうれしい。言葉も少し違っていて、とても新鮮」と喜んでいました。



スペシャリストから学ぼうプロジェクト 那覇市長講演会その1



今年度、本校は、地域と連携し開かれた学校を目指すため特色ある取組を推進しています。その取組の一つとして分野の専門家を学校にお招きし、生徒が「本物」と接することで夢や希望を育むきっかけ作りを計画、4月30日（日）日曜参観で記念すべき第1弾が開催されました。

講師は、城間幹子市長、前半は市長の話、後半15は生徒とのシンポジウム、ラストは市長から生徒達へメッセージを伝える形式で行われました。

市長講話の概要

名前の由来

伊是名生まれである。幹子という名前が好き。木の幹の意。姉がいたが、亡くなってしまったので、姉に対する想いも込めて、親が身体が「木の幹のように丈夫になりますように」という意味も込めて、幹子にした。高校の時は、当初、薬剤師になりたくて、理数科に入ったが、理数が苦手ということがわかった。進路変更を考えた時に「人」が好きということがわかり、心の読心術を持って悩んでいる人の話を聞くのが好きだったので、中学の教師になろうと考えた。4つの教科から国語と英語に絞り、最終的に国語を選考し、宮城教育大学に進学した。

大学時代は苦学生で、人生の大変な時期を過ごした。休みの日の食料を自分で調達しないといけなかった。仙台は北の果て。当時はパスポートを持って入る。その時の先輩に「自分が生きている間に沖縄人に逢えると思わなかった。」と言われたのを覚えている。ドルを円に変える時代だった。

外から自分の住んでいるところを見ることが、今の人生に大きく影響している。東北の震災後は2回、第二の故郷として訪れた。英語にも未練があり英語を勉強した。英語を勉強したい人は、英語で生活する環境に身を置くといいと思う。



学・思・貫

寄宮中学校だより
第3号 2017/05/18
発行 学校長 仲盛康治

スペシャリストから学ぼうプロジェクト 那覇市長講演会その2



「何故、教育者から市長になったのか？」という質問があったが、「チャンスがきたらつかまえない」という私の座右の銘があり、出馬を決意した。他にもいくつか理由はあがるが、教育長時代は人を相手にするチャンスが更に広がった。市民の人生における、赤ちゃんがお腹にいるときから、人生を全うする時まで、そのお手伝いをする事が出来るからだ。原点は「人」人材こそが私たちの宝である。自分の名前を、自分の命を大事に、いろいろなパワーをその時々エネルギーにして頑張りたい。

(中学生コーディネーターとの対談)

Q: 中学校時代にやっておいて良かった事はなんですか？

A: 部活でしょうね。合唱部です。

学生時代の部活動は大いにやって欲しい。その後の人生が豊かになります。

Q: これから挑戦したいこと

A: 市長の仕事をやり遂げたあとは、もういちど世界を自分の目で見てみたい。カナダに旅行したい



Q: 中学生に熱いメッセージをお願いします。

A: 自分の人生は長い。迷路。人生は選択の連続です。辛い経験も人生で大切。妬み、嫉み、恨み、憎しみ、「み」のつく感情を質の良いエネルギーに変えて頑張ることが大切。頑張ってください！

生徒の感想

3年女子

今日の講演を聞いて、とても今後の参考になりました。人生で迷ったときには、自分自身と対話すること、自分自身に語りかけることが大切だとわかりました。またいろいろなことにチャレンジすること、夢を持つことの素晴らしさに改めて気づくことができました。私は、将来人のためになるような仕事がしたいです。夢を実現できるように頑張ろうと思いました。

2年女子

「人生は選択の連続」「声をかけられたら、その人は、自分を必要としている事」という言葉がとても心に残りました。城間幹子市長が言っていたように「人は、いいことばかり経験するよりも、つらいことも経験した方ほうが、自分の人生をもっと良いものにしていける」と思いました。つらいことを経験して初めて人の優しさに気付けるかも知れないと思いました。今日の講演会でとても多くのことを学ぶことができたのでこれからの事に役立てたいです。

保護者の感想

生徒の企画運営、聞いている子どもたちの姿勢が「大変よく感銘を受けました。このプロジェクトのねらいの自治活動の活性化を図るというのはとてもよい。校内だけでなく地域社会と関わりつながっていかうすることは社会貢献やアイデンティティー自己確立の視点からとても大切だと思うので！

